

Me gusta Nicaragua

青年海外協力隊 25年度1次隊 小学校教諭

夏目泰子

2014年7月号

平野小のみなさん、こんにちは！日本は、だんだん暑くなってきている頃でしょうか？こちらは、雨が毎日のように降り、雨の後は肌寒いです。

雨が降ると、植物が生き生きし始め、そして昆虫も増えます。気をつけなければならないのが、蚊です。蚊に刺されてデング熱やチクングニア熱になる可能性があるからです。

さて、6月はとても行事の多い月でした。6月1日「子どもの日」、6月23日「父の日、学校の創立記念日」、6月29日「先生の日」とイベントが立て続けにあり、子どもたちは、歌やダンスの練習に一生懸命取り組んでいました。

日本にはない、「先生の日 (Dia de maestro)」の様子をお伝えします。先生の日は、先生に対して、感謝の気持ちを伝える日です。

先生の日が近づくと、保護者がプレゼントを作ったり、飾り付けの準備をしていました。当日は、先生たちは、ドレスで参加し、子どもたちと保護者の出し物を見ました。

最後は子どもたちみんなで「ありがとうの歌」を歌っていました。

準備に大忙し！



保護者も踊る！



持ちきれないほどのプレゼント



おそろいの衣装で踊る！



日本のダンスも！ソーラン節



1年生もかわいく踊っています



わたしが、ニカラグアに来て、一番変わったことは、ダンスをするようになったことです。上手には踊れないけど、練習しています。ニカラグアの人たち、本当にダンスが上手です。

こんなことをしました。

《音読の宿題をはじめる》

宿題といえば、何を思い浮かべますか？ニカラグアも宿題は各教科出されます。

1年生の先生からの質問で、「どうやったら、子どもたちの国語の力がつくの？」と聞かれました。

授業を見ていると、国語の時間は、ひたすら黒板を写しています。あまり読む時間がありません。(本が学校に少ないという理由もあるのですが・・・)

日本では、宿題で「音読カード」があることを紹介しました。この音読カード、保護者の協力が必要です。保護者会の際に説明して、毎日家で本を1ページ読んでくることにしました。

担任の先生に聞いたら、「子どもたち、だんだんよくなってきている」と言ってくれました。

次は、計算カードの宿題も始める予定です。



毎日やっているからシールが
たくさんたまったね！

《算数セミナー》

首都のマナグアで、算数セミナーが開催されました。教員養成校の先生や教育省の人々、また各国からのゲストも来ました。

その中の1つのブースを私たち青年海外協力隊の5人の小学校算数隊員で持ちました。

教材展示コーナーや青年海外協力隊の紹介(日々の学校での活動、学力テスト、公開授業のことなど)の時間もありました。



教具紹介コーナー



日々の活動を報告しました。

《教具の作成》

算数ブロックとして、ペットボトルのふたを集めて数字の合成・分解の勉強をしました。この台紙の紙は、たし算・引き算でも使えるように、さらに次の年も使えるように丈夫に作りました。

